

ボランティアと餅つきをする児童



## 育てたもち米で餅つき

### 一粒一粒に思いを込め

#### コメ作りを通し農業に理解

12月12日、5年生が総合した。餅つき後は、おもしろい学習の時間として餅を食べてみる。児童の姿が見え、保護者や地域の人も一緒に餅つきをした。活動に参加した5年生の「コメ作りを通して、地域大草悠真さん(11)は餅を育てて食べる喜びを感じ、育ててくれたお米を食べてみたい」と話した。5年生は地域の人の力を借りながら、5月にも米で餅つきができたことは、5年生にとって大きな経験となった。

12月には「餅つき2024」というイベントを開き、坂田智広、上田理功、山本楓、實重聖紀、長瀬連希が協力しながら餅つきを



## 励まし合い、みんなで目指す

5月31日に岸本小学校の5年生が、大山の自然について知り、達成感を味わうことを目的として大山登山を行った。全員で励まし合いながら協力して大山の頂上を目指した。

事前に、ゲストティーチャーの達磨晋先生を招き、大山の自然や歴史について学んだ。登山の当日は、鳥の鳴き声や、景色を楽しみながら、全員で登頂することができた。

大山登山に参加した遠藤花さん(11)は、「励まし合って、頂上へ行ってよかった」と話した。松本晴夢さん(10)は「とても気持ちがよかった。最後まで頑張ったよかった」と話した。頂上に着いた時の達成感は、今後の人生において忘れることのできない思い出となった。

(生村桜雅、上田愛斗、藤原結菜、生田望寧、八幡奈乃羽、木下健翔、後藤新太)

# 岸本小新聞

大山を満喫した児童

## 学校概要



【学校名】 岸本町立岸本小学校  
【所在地】 西伯郡岸本町吉長7番地2  
【校長名】 河本 洋  
【児童数】 337人  
【学校教育目標】 心豊かにたくましく、もに生きる 児童の育成、高め合う力を育む学校づくり

【沿革】  
1965(昭和40)年 幡郷小学校、大幡小学校、小野分校を統合し、岸本小学校と改称  
1967(昭和42)年 岸本小学校竣工式  
2011(平成23)年 岸本小学校学校運営協議会設置  
2017(平成29)年 町教育委員会による「コミュニティ・スクール指定校」  
2018(平成30)年 創立50周年記念セレモニー開催  
「『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」受賞

【めざす子どもの姿】 わっしょい岸本、かかやくひとみ、あかるい笑顔、ゆめに向かって日々努力  
【行事徹底】 あいさつ、返事、履物そろえ、時間を守る、腰を立てる



## コミスクで学校を支援

### 地域と先生、保護者が連携

岸本小学校では、2011年(平成23)年に学校運営協議会が発足し、現在では岡田大輔会、子どもたち学校で楽しく暮らす



コミスク委員が話し合っている様子

「コミスク」は、地域と先生、保護者と連携して活動をする。学校をより良くする心援団として活動する。この会、コロナ禍では、児童の健康を願い、校内消毒などの感染予防の活動をしてきた。学校行事にも随時参加し、児童のサポートや助言を行う活動を行っている。

コミスク委員の後原奈月先生は、「私は岸本出身なので、地域の良さを伝えたい。地域と連携することが大切」と語っている。

岸本小学校では毎年12月、学校をより良くする心援団として活動する。この会、コロナ禍では、児童の健康を願い、校内消毒などの感染予防の活動をしてきた。学校行事にも随時参加し、児童のサポートや助言を行う活動を行っている。

コミスク委員の後原奈月先生は、「私は岸本出身なので、地域の良さを伝えたい。地域と連携することが大切」と語っている。

## 「元気に帰ってきてね」

### 日野川でサケの稚魚放流

岸本小学校では毎年12月、学校をより良くする心援団として活動する。この会、コロナ禍では、児童の健康を願い、校内消毒などの感染予防の活動をしてきた。学校行事にも随時参加し、児童のサポートや助言を行う活動を行っている。

コミスク委員の後原奈月先生は、「私は岸本出身なので、地域の良さを伝えたい。地域と連携することが大切」と語っている。



サケを放流する児童たち

## みんなで協力してより良く

### 6年生が気づかせた学校の未来



フォーラムで提案をしている6年生

12月13日、岸本小学校の6年生が、学校をより良くするために自分たちで考えることを考え、保護者や地域に提案する未来づくりフォーラムが行われた。

6年生が学校の未来について考え、5年生をはじめ



「力石」を持つ3年生(頭本紗良、野坂優希、山浦奈々央、佐伯宇唯、杉本玲花、松浦ゆう、野口実玖)

## 岸本の宝物「鵜尾」「力石」ってなあに？

3年生が校区見学

3年生は、伯耆町の魅力を知るために岸本地区を回り、岸本の宝物である「鵜尾」や「力石」などの学習をしている。

岸本の宝の1つである「鵜尾」は火災・厄よけに用いる装飾品であり、城に取り付けるシャチホコの始祖と考えられている。現存する「石製鵜尾」は、国の重要文化財にも指定されている。

「力石」は、昔の人の力比べに使われており、60～100kgもの重さがある。児童は、力石を実際に持ち、その重さに驚いていた。

細田琉愛さん(9)は「岸本の宝物の勉強は楽しく、大事なことを学べた」と話した。3年生は今回の学習を通して岸本の魅力をたくさん知り、次の3年生に受け継いでいってくれるだろう。

## みんなで楽しく芋掘り

### サツマイモで感謝学ぶ



芋掘りをする1、2年生

昨年10月、岸本小学校のサツマイモの成長を観察し、畑で1、2年生が芋掘りを適切な世話をすること、地行った。1、2年生は、サ域の人に感謝の気持ちをも

## 元気なあいさつ響く

### 児童も進んで取り組む

11月、「岸本小学校といえばあいさつ」と言ってもらえるようにするという目標を掲げ、生活委員会が主体となってあいさつフェスタが行われた。あいさつを通して、より元気のいい学校にするために、全校児童が毎日、気持ちの良いあいさつを心がけて取り組んだ。

PTA主催の同フェスタは今年で4回目。登校時には、明るく元気な声であいさつをする姿が見られた。この取り組みを通して、学校全体で自分からあいさつをする人が増えている。

2年生の吉田采睦さん(8)は、「よいあいさつを自然にすることができた」と



児童玄関であいさつを交わす児童

話した。あいさつフェスタが終わっても、児童は進んで気持ちの良いあいさつをしており、今後も岸本小学校からあいさつの声が響いている。

(遠藤花、齋藤双葉、影山尚紀、飯田葵、綾木菜子、梅林澤、松本晴夢、中山駿)